

アフリカ豚熱の発生状況

- 2018年8月に中国においてアジア初の発生。その後、アジア18か国・地域まで感染が拡大。
特に、韓国では2019年9月の発生確認以来、飼養豚、野生イノシシで、徐々に感染が拡大（直近では飼養豚では2023年7月、野生イノシシは同年8月に発生）。
- 東アジアでアフリカ豚熱が発生していないのは、**日本、台湾のみ**。
- 既に、我が国に違法に持ち込まれた畜産物4件からアフリカ豚熱ウイルスが分離されており、国際郵便物を含めた水際対策の強化により、事前に侵入を防止することが極めて重要。
- 万が一、野生イノシシに侵入を許した場合、豚熱と異なりワクチンがないことから、農場の飼養豚については、飼養衛生管理の向上が必要であるとともに、野生イノシシについて、死体を衛生的に処理する必要。



■ = 2005年以降WOAH等に発生通報のあった国/地域

(参考) アジアにおける新規発生国数の推移

2018	2019	2020	2021	2022	2023
1	11	1	3	1	1

[参考] 違反の実例



中国からの旅客に持ち込まれた違法豚ソーセージ
(感染性のあるアフリカ豚熱ウイルスを検出した事例あり)

(参考) 豚熱、アフリカ豚熱の病原性に関する比較

	伝播性	致死率
豚熱	++	+
アフリカ豚熱	+	++

伝播性：感染しやすさ（ウイルスに接触した豚のうち感染する個体の割合）
致死率：感染し、発症した豚のうち、死亡した個体の割合

出典：FLI（ドイツ連邦動物衛生研究所）作成資料

アフリカ豚熱の発生に備えたこれまでの取組

(1) 家畜伝染病予防法改正

- アジアにおいてアフリカ豚熱の発生が急速に拡大し、我が国への侵入脅威が一段と高まっていることから、**令和2年に家畜伝染病予防法を改正**。
→ **予防的殺処分の対象疾病にアフリカ豚熱を追加したほか、野生動物における感染に対する対策の強化、家畜防疫官の権限強化、輸出入検疫に関する罰則強化等を措置。**

(2) 水際対策の強化

- アフリカ豚熱の我が国への侵入を水際で防止するため、令和2年度末までに**検疫探知犬を140頭へ増頭**(5年間で約7.8倍)。**家畜防疫官**についても、令和4年度末に**526名体制に増員**。
- 平成31年4月から**携帯品**検査の対応を厳格化し、**6件10名の逮捕事例**。また、**国際郵便物**についても、日本郵便と協力して検査を強化し、**2件4名の逮捕事例**。(令和5年8月末時点)

(3) 農家への注意喚起と飼養衛生管理の向上

- 令和3年11月に**農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部**を開催し、農家に対する注意喚起を行うとともに、関係者間でアフリカ豚熱対策の現状と今後の対応を確認。
- アフリカ豚熱には**有効なワクチンが存在しない**ことから、飼養衛生管理の徹底が最重要。飼養衛生管理水準の向上を図るため、3か月に1度、**全国の養豚農場の一斉点検を実施**。

(4) 野生イノシシ対策の強化

- 野生イノシシの捕獲・サーベイランスによる感染状況の早期把握が重要であることから、農林水産省職員が各県を直接訪問し、**更なるサーベイランスの実施を要請**。また、**新たな検査法の導入、検査促進に係る支援**により、検査頭数の増加を促進。
- 野生イノシシの死体処理に関する**制度的整理及び関係部局の連携強化**について、農水省・環境省関係5局庁長通知を発出(令和4年3月)。また、野生イノシシにおける防疫措置の具体化のために、**防疫措置マニュアル案を今後公表し、全都府県で検証を実施予定**。
- **野生動物対策に必要な人材の育成・強化**するとともに、**登山等の一般の入山者への情報発信を強化**。

(5) 防疫演習の実施

- **農林水産省**において、令和2年9月、熊本県及び農研機構動物衛生研究部門の協力も得て、**国内におけるアフリカ豚熱の発生を想定した防疫演習を初めて実施**。
- **都道府県**においても、令和3年度に計147回、令和4年度も計70回(令和4年10月1日時点) **演習を実施**。
- また、**野生イノシシにおいてアフリカ豚熱が発生した場合を想定し**、令和3年12月28日に茨城県において、つくば市協力の下、**イノシシの死体の処理等の防疫作業に関する実地演習を実施**。

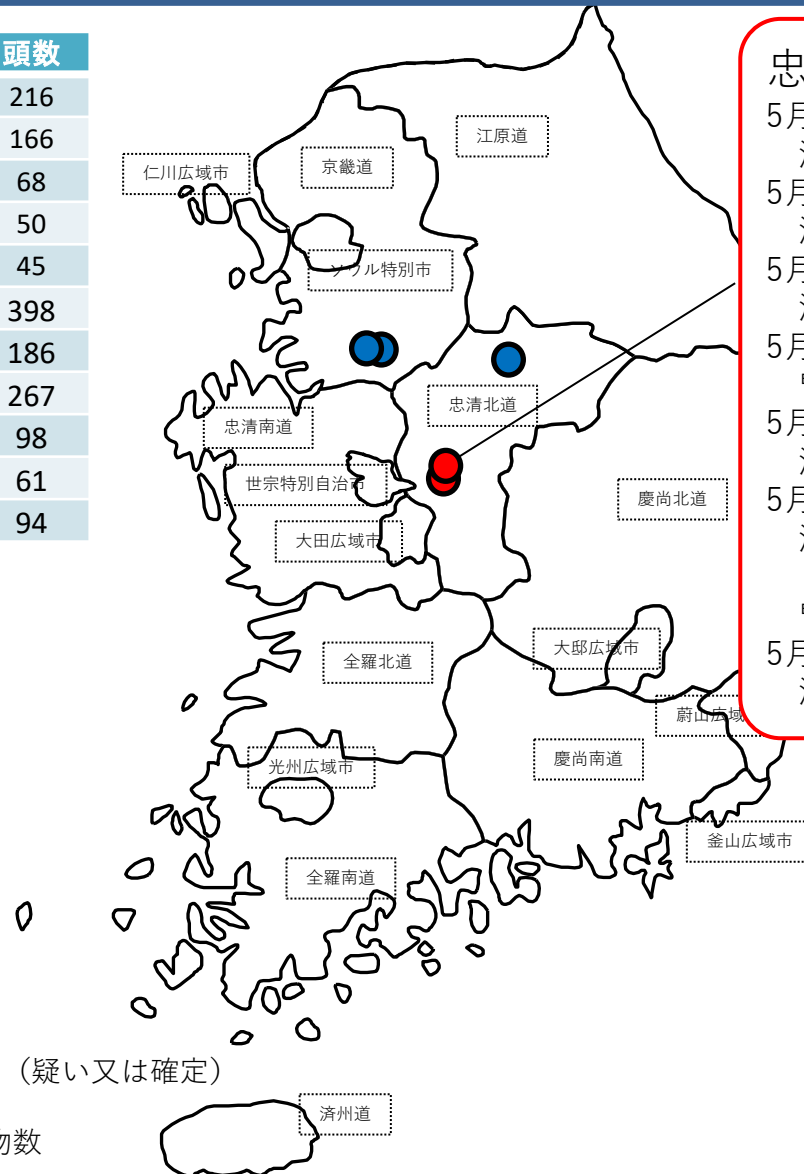


【埋却作業の演習を行う農水省職員】

韓国における口蹄疫の状況（令和5年5月以降）

- 令和5年11日未明、韓国中央部の忠清北道清州市における2か所の牛農場で口蹄疫の発生が確認されたことが公表。これまでに合計11か所の農場で発生が確認（韓国では、平成31年（2019年）1月に発生して以降4年ぶりの発生）。
- なお、韓国においては、家畜への口蹄疫ワクチン接種が行われている。

	発生日	場所	動物種	頭数
1	'23/5/10	忠北 清州市	牛	216
2	'23/5/10	忠北 清州市	牛	166
3	'23/5/10	忠北 清州市	牛	68
4	'23/5/11	忠北 清州市	牛	50
5	'23/5/12	忠北 清州市	牛	45
6	'23/5/14	忠北 曾坪郡	牛	398
7	'23/5/15	忠北 清州市	牛	186
8	'23/5/16	忠北 清州市	牛	267
9	'23/5/16	忠北 曾坪郡	牛	98
10	'23/5/16	忠北 清州市	山羊	61
11	'23/5/18	忠北 清州市	牛	94



忠清北道（11件）

5月10日（確定日は11日）
 清州市 牛：3件（O型）
 5月11日
 清州市 牛：1件（O型）
 5月12日
 清州市 牛：1件（O型）
 5月14日
 曾坪郡 牛：1件（O型）
 5月15日
 清州市 牛：1件（O型）
 5月16日
 清州市 牛：1件（O型）
 山羊：1件（O型）
 曾坪郡 牛：1件（O型）
 5月18日
 清州市 牛：1件（O型）

- : 2023年発生地点
- : 2019年発生地点（参考）

注：日付はOIE報告の発生日
 ただし、OIE未報告の場合は韓国当局公表日（疑い又は確定）
 とし、件数の後に※マークを記載
 頭数は当該農場で飼養されている感受性動物数

2023年5月22日（13:30）時点
 農林水産省動物衛生課

出典：韓国農林畜産食品部
 OIE

参考資料